

加藤詔士（鉦治）教授 著書・論文等一覧

I. 著書・編著・訳書

1. 『英国メカニクス・インスティテュート研究の成果と動向』
神戸商科大学経済研究所, 1986年12月, 全185頁。
2. 『英国メカニクス・インスティテュートの研究—生成と発展—』
神戸商科大学経済研究所, 1987年12月, 全352頁。
3. 『英国メカニクス・インスティテュート資料研究』
神戸商科大学経済研究所, 1992年12月, 全308頁。
4. 『歴史のなかの教師・子ども』
福村出版, 2000年3月, 全344頁。[井上知則・高木靖文と共編著]
5. 『地方教育史論考』
大学教育出版, 2000年3月, 全150頁。[篠田弘と共編著]
6. 『名古屋大学最初の外国人教師—ヨンクス先生とローレツ先生—』
(名大史ブックレット5) 名古屋大学大学史資料室, 2002年3月, 全58頁。
7. O. チェックランド『日本の近代化とスコットランド』
玉川大学出版部, 2004年4月, 全222頁。[宮田学と共編訳書]
8. 『新版 子どもの教育の歴史, その生活と社会背景をみつめて』
名古屋大学出版会, 2008年3月, 全316頁。[江藤恭二監修, 篠田弘・鈴木正幸・吉川卓治と共編著]
9. 『西洋世界と日本の近代化—教育文化交流史研究—』
大学教育出版, 2010年3月発行予定。[吉川卓治と共編著]

II. 科研報告書

1. 『英国メカニクス・インスティテュートにおける親睦的活動の教育的意義に関する研究』
科学研究費補助金（基盤研究C2）研究成果報告書, 1999年3月, 全61頁。
2. 『日英教育文化交流史研究—日本・スコットランド間の技術移転と文化交流を中心に—』
科学研究費補助金（基盤研究C2）研究成果報告書, 2002年3月, 全296頁。
3. 『お雇い教師ヘンリー・ダイアーを介した日本・スコットランド間の教育連鎖の研究』
科学研究費補助金（基盤研究C2）研究成果報告書, 2008年3月, 全236頁。

III. 論文

1. 「英国 Mechanics' Institute の起源—18世紀 Glasgow における Anti-Toga Class と Anderson's Institution—」
『名古屋大学教育学部紀要（教育学科）』第20巻, 1974年3月, 185-196頁。
2. 「18世紀 Scotland 大学の研究」
名古屋大学大学院教育学研究科教育学専攻『教育論叢』第17号, 1974年3月, 15-34頁。
3. 「Thomas Hodgskin 教育論考—「London Mechanics' Institution 設立提唱」の思想—」
名古屋大学大学院教育学研究科教育学専攻『教育論叢』第18号, 1975年1月, 39-61頁。
4. 「英国 Mechanics' Institute の起源（2）— Glasgow Mechanics' Class・Edinburgh School of Arts・Glasgow Mechanics' Institution—」
『名古屋大学教育学部紀要（教育学科）』第21巻, 1975年3月, 157-168頁。
5. 「英国 Mechanics' Institutes 運動と Technical College の成立」

- 【日本社会教育学会紀要】No.11, 1975年6月, 64-75頁。
6. 「London Mechanics' Institution 成立の経緯」
【教育史学会紀要・日本の教育史学】第18集, 1975年10月, 74-92頁。
 7. 「イギリスにおける継続教育の拡充」
日本社会教育学会年報編集委員会編『学習権保障の国際的動向』東洋館出版社, 1975年11月, 50-61頁。
 8. 「英国 Mechanics' Institutes 運動研究の最近の動向」
【日本社会教育学会紀要】No.13, 1977年6月, 59-68頁。
 9. 「英国 Mechanics' Institutes 運動の歴史像（1）—トーマス・ケリーの所説を中心にして—」
【名古屋大学教育学部紀要（教育学科）】第24巻, 1978年3月, 87-96頁。
 10. 「1850年代における英国 Mechanics' Institutes 運動の歴史像」
【名古屋大学教育学部紀要（教育学科）】第25巻, 1979年3月, 61-74頁。
 11. 「英国からみた工部大学校」
江藤恭二編『比較教育史の総合的研究—近代日本教育の確立過程における欧米教育の受容に関する比較史的考察—』No.1（文部省科学研究費総合研究（A）研究成果報告書）, 1980年3月, 37-49頁。
 12. 「英国における Mechanics' Institutes 連合の形成（1）」
【名古屋大学教育学部紀要（教育学科）】第27巻, 1981年3月, 117-127頁。
 13. 「ジエームズ・ホルの成人教育活動—Mechanics' Institute の改革—」
【日本社会教育学会紀要】No.19, 1983年6月, 1-8頁。
 14. 「Mechanics' Institute の経営改革と博覧会事業」
神戸商科大学『人文論集』第19巻第1号, 1983年9月, 38-68頁。
 15. 「英国 Mechanics' Institutes 運動史像の再構成をめぐる最近の研究成果（2）」
神戸商科大学『人文論集』第19巻第3・4号, 1984年3月, 45-84頁。
 16. 「英国 Mechanics' Institutes 運動史像の再構成をめぐる最近の研究成果（1）」
神戸商科大学『人文論集』第20巻第1号, 1984年11月, 1-54頁。
 17. 「Mechanics' Institute 原義考」
神戸商科大学『人文論集』第20巻第2号, 1984年12月, 17-37頁。
 18. 「英国における Mechanics' Institute の統計資料に関する考察」
神戸商科大学経済研究所『研究資料』No.65, 1985年7月, 1-104頁。
 19. 「英国 Mechanics' Institute 研究の史料と文献に関する考察」
神戸商科大学経済研究所『研究資料』No.68, 1985年9月, 1-46頁。
 20. 「英国における Mechanics' Institute の普及状況に関する考察」
神戸商科大学経済研究所『研究資料』No.76, 1985年11月, 1-57頁。
 21. 「ドクトル・ヨングハンス—福沢諭吉の息子たちの洋行時代の後見人—」
【三田評論】第864号, 慶応義塾, 1985年11月, 38-51頁。
 22. 「英国における自然科学学習の組織化—Mechanics' Institute に先行する実践と提案—」
神戸商科大学『人文論集』第22巻第1号, 1986年9月, 1-24頁。
 23. 「18世紀スコットランドの社会と教育—Mechanics' Institute 生成の背景—」
神戸商科大学『人文論集』第22巻第2号, 1987年2月, 19-57頁。
 24. 「A History of Mechanics' Institutes in Great Britain up to the 1850's (A Summary)」
神戸商科大学『人文論集』第24巻第1号, 1988年10月, 51-62頁。
【Mechanics' Institutes in Great Britain to the 1850s】
"Journal of Educational Administration and History" (Leeds University), XXI-2, July 1989, pp.1-7.
 25. 「J. W. ハドソン『成人教育の歴史』（1851）の歴史的考察」
神戸商科大学『人文論集』第24巻第3・4号, 1989年3月, 63-100頁。
 26. 「J. W. ハドソンの成人教育活動—『成人教育の歴史』（1851）をめぐる考察—」
【日本社会教育学会紀要】No.25, 1989年6月, 49-59頁。

27. 「わが国における英国メカニクス・インスティテュート理解」
『関西教育学会紀要』第14号, 1990年7月, 59-63頁。
28. 「辞書・事典におけるメカニクス・インスティテュート像」
神戸商科大学『人文論集』第26巻第1・2号, 1990年12月, 181-224頁。
29. 「『Mechanics' Institute』訳語考」
『関西教育学会紀要』第15号, 1991年7月, 29-34頁。
30. 「『ロンドン・メカニクス・インスティテューション設立提案』の歴史的考察」
神戸商科大学『人文論集』第27巻第3・4号, 1992年3月, 1-33頁。
31. 「明治期におけるグラスゴウ大学日本語資格試験」
江藤恭二監修, 篠田弘・鈴木正幸編『教育近代化の諸相』名古屋大学出版会, 1992年3月, 201-221頁。
32. 「J. W. ハドソンと成人教育—H. P. ブルーム宛の6通の書簡—」
神戸商科大学経済研究所『研究資料』No.128, 1992年9月, 1-22頁。
33. 「『サンドイッチ・システム』の起源」
『関西教育学会紀要』第18号, 1994年8月, 78-82頁。
34. 「トマス・ケリー教授と英国成人教育史研究」
『名古屋大学教育学部紀要（教育学科）』第41巻第1号, 1994年9月, 17-29頁。
35. 「わが国における英国メカニクス・インスティテュート研究」
名古屋大学教育学部教育史研究室『教育史研究室年報』創刊号, 1995年9月, 71-100頁。
36. 「ヘンリー・ダイアー・シンポジウム」(学界動向)
名古屋大学教育学部教育社会史研究室『教育社会史研究室年報』第3号, 1997年11月, 51-70頁。
37. 「『愛知一中旧蔵書解題目録』にみられる英学教科書」
日本英学史学会『英学史研究』第31号, 1998年10月, 13-26頁。
38. 「パトリック・コブランド—大学成人教育の先駆者」
篠田弘監修, 井上知則・加藤詔士・高木靖文編著『歴史のなかの教師・子ども』福村出版, 2000年3月, 199-212頁。
39. 「愛知県最初の外国人教師 A. イングリス」
篠田弘・加藤詔士編著『地方教育史論考』大学教育出版, 2000年3月, 41-57頁。
40. 「お雇い教師フレデリック・サンデマン」
日本英学史学会『英学史研究』第33号, 2000年10月, 121-136頁。
41. 「Soseki Natsume, Examiner in Japanese at Glasgow University」
Nagoya Journal of Education and Human Development, No.1, Jan. 2002, pp.79-91.
42. 「東京大学所蔵『ヘンリー・ダイアー関係図書』をめぐる考察」
東京大学史料室『東京大学史紀要』第20号, 2002年3月, 1-24頁。
43. 「明親館お雇いフランス人英学教師 D. トロンクワ」
日本英学史学会『英学史研究』第35号, 2002年10月, 31-48頁。
44. 「外国人教師のみた名古屋大学」
名古屋大学大学史資料室『名古屋大学史紀要』第11号, 2003年3月, 17-90頁。
45. 「日英交流の推進者ヘンリー・ダイアーの墓碑銘」
日本英学史学会『英学史研究』第36号, 2003年10月, 57-72頁。
46. 「日英交流の推進者 G. C. アレン—名古屋高等商業学校の英国人教師—」
日本英学史学会『英学史研究』第37号, 2004年10月, 1-20頁。
47. 「オリーブ・チェックランドの日英交流史研究—成果と課題—」
名古屋大学教育学部教育史研究室『教育史研究室年報』第10号, 2004年12月, 11-33頁。
48. 「工部大学校書房掛猪俣昌武とお雇い教師ヘンリー・ダイアー」
東京大学史料室『東京大学史紀要』第23号, 2005年3月, 25-39頁。
49. 「工部大学校お雇いスコットランド人教師ヘンリー・ダイアー—『努力立身』の生涯—」

- 『名古屋大学大学文書資料室紀要』第13号, 2005年3月, 1-31頁。
50. 「日英交流の遺産ダイアー・コレクション研究」
日本英学史学会『英学史研究』第38号, 2005年10月, 39-57頁。
 51. 「辞書・事典のなかの『ヘンリー・ダイアー』」
名古屋大学教育学部教育史研究室『教育史研究室年報』第11号, 2005年11月, 1-26頁。
 52. 「日本近代化のなかのお雇い教師 W. K. パルトン」
日本英学史学会関西支部『関西英学史研究』第2号, 2006年12月, 79-97頁。
 53. 「お雇い教師ヘンリー・ダイアーの著作」
名古屋大学教育学部教育史研究室『教育史研究室年報』第12号, 2006年12月, 1-32頁。
 54. 「工部大学校お雇い教師ヘンリー・ダイアー・コレクション展」
東京大学史史料室『東京大学史紀要』第25号, 2007年3月, 19-39頁。
 55. 「名古屋藩留学生・鬼頭佐太郎のドイツ留学」
洋学史学会『洋学』15, 2007年3月, 1-37頁。
 56. 「H. ダイアー『大日本・東洋の英国』(1904)をめぐる考察」
『関西教育学会年報』第31号, 2007年6月, 36-40頁。
 57. 「H. ダイアー『大日本』(1904)の研究—書評と出版記録を中心に—」
日本英学史学会『英学史研究』第40号, 2007年10月, 1-22頁。
 58. 「近代日本とイギリスの教育学術交流」
名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育史研究室『教育史研究室年報』第13号, 2007年12月, 31-52頁。
 59. 「『金城新報』に描かれた愛知教育博物館」
名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育史研究室『教育史研究室年報』第13号, 2007年12月, 59-96頁。
 60. 「愛知教育博物館の開設」
『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要(教育科学)』第54巻第2号, 2008年3月, 1-26頁。
 61. 「お雇い教師ヘンリー・ダイアーの日本研究」
『関西教育学会年報』第32号, 2008年6月, 46-50頁。
 62. 「お雇い英国人教師ヘンリー・ダイアーの日本研究—成果と特色—」
日本英学史学会『英学史研究』第41号, 2008年10月, 33-56頁。
 63. 「お雇い教師ヘンリー・ダイアーの著者署名本(再論)」
名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育史研究室『教育史研究室年報』第14号, 2008年12月, 1-21頁。
 64. 「H. ダイアー『大日本』(1904)の伝来」
『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要(教育科学)』第55巻第2号, 2009年3月, 67-90頁。
 65. 「グラスゴウと明治日本—ストラスクライド大学における日英交流—」
日本英学史学会『英学史研究』第42号, 2009年10月, 15-37頁。
 66. 「工部大学校お雇い教師ヘンリー・ダイアーへの謝意」
日本英学史学会関西支部『関西英学史研究』第4号, 2009年11月, 15-29頁。
 67. 「T. H. ヨングハンス—錦絵になったお雇い教師—」
洋学史学会『洋学』17, 2009年11月, 87-128頁。
 68. 「東京帝国大学名誉教師ヘンリー・ダイアー」
東京大学史史料室『東京大学史紀要』第28号, 2010年3月, 1-18頁(発行予定)。
 69. 「名古屋藩洋学校お雇いフランス人教師 P. J. ムリエ」
加藤詔士・吉川卓治編著『西洋世界と日本の近代化—教育文化交流史研究—』
大学教育出版, 2010年3月, 42-63頁(発行予定)。
 70. 「南清のグラスゴウ留学」
加藤詔士・吉川卓治編著『西洋世界と日本の近代化—教育文化交流史研究—』
大学教育出版, 2010年3月, 80-99頁(発行予定)。

IV. 翻訳

1. C. テイトムス「フランスにおける大学成人教育の現状」
『月刊社会教育』No.278, 国土社, 1980年7月, 69-75頁。
2. A. H. ハルゼー「イギリスの大学は変身できるか」(抄訳)
『IDE, 現代の高等教育』No.226, 民主教育協会, 1981年12月, 63-71頁。
3. O. チェックランド「日本・スコットランド間の技術移転と文化交流（1860年-1914年）」
名古屋大学教育学部教育史研究室『教育史研究室年報』創刊号, 1995年9月, 117-139頁。
4. O. チェックランド「工部大学の英国人教師と日本人技術者」
大学史研究会『大学史研究』第11号, 1995年12月, 59-69頁。
5. W. H. ブロック「工部大学校をめぐる日英教育交流—19世紀末の東京・ロンドン・グラスゴウにおける工学教育—」
大学史研究会『大学史研究』第12号, 1996年12月, 99-112頁。
6. O. チェックランド「明治期・英国の日本人技術者たち」
名古屋大学教育学部教育史研究室『教育史研究室年報』第2号, 1996年12月, 55-71頁。
7. O. チェックランド「明治日本のスコットランド人」
名古屋大学教育学部教育社会史研究室『教育社会史研究室年報』第3号, 197年11月, 71-102頁。
8. O. チェックランド「明治日本における経済学の到来」
名古屋大学教育学部教育社会史研究室『教育社会史研究室年報』第4号, 1998年12月, 39-66頁。
9. O. チェックランド「岩倉使節団の英国視察」
名古屋大学教育学部教育社会史研究室『教育社会史研究室年報』第5号, 2000年2月, 55-75頁。
10. O. チェックランド「工部大学校都検ヘンリー・ダイアー—日英交流の推進者—」
大学史研究会『大学史研究』第15号, 2000年3月, 94-106頁。
11. O. チェックランド「絵師・河鍋暁斎（1831-89年）と英国人」
名古屋大学教育学部教育史研究室『教育史研究室年報』第6号, 2000年7月, 33-50頁。
12. O. チェックランド「日本最初の洋式灯台技師 R. H. プラントン」
名古屋大学教育学部教育史研究室『教育史研究室年報』第7号, 2001年11月, 63-85頁。
13. O. チェックランド「竹鶴政孝をめぐるスコットランドとの交流—ウイスキー醸造と国際結婚—」
名古屋大学教育学部教育史研究室『教育史研究室年報』第7号, 2001年11月, 87-106頁。
14. O. チェックランド「国際的な銀行家・添田寿一（1864-1929年）」
名古屋大学教育学部教育史研究室『教育史研究室年報』第8号, 2002年7月, 127-147頁。
15. O. チェックランド「お雇いスコットランド人技師 W. K. パートン」
名古屋大学教育学部教育史研究室『教育史研究室年報』第8号, 2002年7月, 149-172頁。

V. その他

1. 「博物館と成人教育」
『東海社会教育研究会会誌』第14号, 1971年6月, 28-33頁。
2. 「London 大学開設時における Scotland 諸大学の指導性」
大学史研究会・寺崎昌男ほか編『大学史研究通信』第8号, 評論社, 1974年8月, 42-50頁。
大学史研究会編『大学史研究通信』II, 日本図書センター, 2004年6月, 296-304頁。
3. 「18世紀スコットランド諸大学の歴史像—研究の成果と方向—」
名古屋大学大学院教育学研究科教育学専攻『教育論叢』第19号, 1976年3月, 33-42頁。
4. 「18世紀スコットランド諸大学の歴史像をもとめて」
大学史研究会・寺崎昌男ほか編『大学史研究通信』第10号, 評論社, 1976年9月, 50-55頁。
大学史研究会編『大学史研究通信』III, 日本図書センター, 2004年6月, 150-155頁。

5. 「愛知県のお雇い外国人たち」
『中日新聞』1979年2月28日（夕）、7頁。
6. 「英国教育史研究の成果と動向」（資料）
『名古屋大学教育学部紀要（教育学科）』第26巻、1980年3月、179-196頁。
7. 「名古屋大学公開講座のあゆみと現状、昭和54年度受講者調査結果を中心として」
宮坂広作編『生涯教育と高等成人教育』No.4（文部省科学研究費総合研究A研究成果報告書）1980年4月、101-119頁。[新海英行・新田照夫と共筆]
8. 「愛知のお雇い外国人」（1）～（15）
『中日新聞』1980年4月8日（夕）～4月12日（夕）、4月15日（夕）～4月19日（夕）、4月22日（夕）～4月26日（夕）。
9. 「好生館のお雇い医学教師ドクトル・ヨンゲハンス」
『佐賀新聞』1986年1月10日、9頁。
10. 「ジョン・プロスターによる Mechanic Institution 設立の提案」
日本図書館研究会『図書館界』Vol.38, No.1, 1986年5月、31-34頁。
11. 「通信簿をつける教師の作法は」
『灯台』No.302, 第三文明社、1986年6月、35頁。
12. 「ドクトル・ヨンゲハンスの写真」
『福沢手帖』第49号、福沢論吉協会、1986年6月、12-15頁。
13. 「授業料と受業料」
『IDE, 現代の高等教育』No.276, 民主教育協会、1986年10月、76-80頁。
14. 「スコットランド滞在記」
『淡水』35号、神戸商科大学淡水会、1989年3月、68-73頁。
15. 「海外教育事情・スコットランド」
『子どもと教育』第192号、あゆみ出版、1989年10月1日、120-121頁。
『子どもと教育』第193号、あゆみ出版、1989年11月1日、118-119頁。
『子どもと教育』第194号、あゆみ出版、1989年12月1日、120-121頁。
16. 「お雇いフランス人英語教師リュ・トロンクワ」
『学鑑』第87巻第4号、丸善、1990年4月、34-37頁。
17. 「多河慶一先生を送る」
神戸商科大学『人文論集』第26巻第1・2号、1990年12月、259-266頁。
18. 「竹鶴政孝のスコットランド留学」
『学鑑』第88巻第2号、丸善、1991年2月、30-33頁。
19. 「鍋島直正公の『診察御日記』」
『日本古書通信』第56巻第5号、日本古書通信社、1991年5月、18-20頁。
20. 「グラスゴウ大学日本語試験委員・夏目漱石」（上）（中）（下）
『学鑑』第89巻第3号、丸善、1992年3月、44-47頁。
『学鑑』第89巻第4号、丸善、1992年4月、44-47頁。
『学鑑』第89巻第5号、丸善、1992年5月、44-47頁。
21. 「資本主義の成立・展開と子どもの生活、第1節 イギリス」
江藤恭二・篠田弘・鈴木正幸編『子どもの教育の歴史—その生活と社会背景をみつめて—』名古屋大学出版会、1992年4月、29-38頁。
江藤恭二監修、篠田弘・鈴木正幸・加藤詔士・吉川卓治編『新版 子どもの教育の歴史、その生活と社会背景をみつめて』名古屋大学出版会、2008年3月、30-40頁。
22. 「トマス・ケリー教授を偲んで」
『月刊社会教育』No.455, 国土社、1994年2月、80-87頁。
23. 「濃尾地震とオスカー・オットー・カイル」（1）（2）

- 【日本古書通信】第59巻第4号，日本古書通信社，1994年4月，6-8頁。
【日本古書通信】第59巻第5号，日本古書通信社，1994年5月，8-10頁。
24. 「南清のスコットランド留学」
【リベルス】第16号，柏書房，1994年7月，20-25頁。
25. 「マーシャル『経済学原理』のなかの「日本」」
【書斎の窓】第438号，有斐閣，1994年10月，50-54頁。
26. 「お雇い私人教師ムリエによる日本養蚕技術の紹介」（上）（下）
【日本古書通信】第60巻第7号，日本古書通信社，1995年7月，13-14頁。
【日本古書通信】第60巻第8号，日本古書通信社，1995年8月，28-29頁。
27. 「福沢三八のグラスゴウ留学—日本語資格試験の申し出—」
【福澤手帖】86，福沢論吉協会，1995年9月，16-25頁。
28. 「司法省お雇いフランス人教師—P. J. ムリエ」（上）（下）
【書斎の窓】第453号，有斐閣，1996年4月，59-68頁。
【書斎の窓】第454号，有斐閣，1996年5月，55-63頁。
29. 「国際結婚のさきがけ—お雇い教師 W. H. フリーム—」
【書斎の窓】第458号，有斐閣，1996年10月，60-65頁。
30. 「スコットランドと日本の交流—チェックランド『明治日本とイギリス』の刊行に寄せて」
【學鏡】第93巻第11号，丸善，1996年11月，28-31頁。
31. 「ローレツ先生物語」上，下
「緑の笛豆本」第343集，緑の笛豆本の会，1997年5月1日，全48頁。
「緑の笛豆本」第344集，緑の笛豆本の会，1997年6月1日，全47頁。
32. 「明治期日本人留學生の母校—ストラスクライド大学の二〇〇年史」
【學鏡】第94巻第7号，丸善，1997年7月，36-39頁。
33. 「ヘンリー・ダイアーの結婚」
【UP】第304号，東京大学出版会，1998年2月，16-20頁。
34. 「夏目漱石と蘇格蘭」
「緑の笛豆本」第352集，緑の笛豆本の会，1998年2月1日，全55頁。
35. 「愛知英語学校の英学教科書」
【學鏡】第95巻第3号，丸善，1998年3月，26-29頁。
36. 「H. ブルーム『英国民衆教育管見』」
名古屋大学附属図書館『館燈』No.128，1998年8月15日，1-4頁。
37. 「ウォルフ先生—宣教師から転身したお雇い教師」（上）（下）
【書斎の窓】第478号，有斐閣，1998年10月，48-53頁。
【書斎の窓】第479号，有斐閣，1998年11月，52-56頁。
38. 「ストラスクライド大学200年史研究—J. バット『ジョン・アングソンの遺産』（1996）の紹介—」
名古屋大学教育学部教育社会史研究室『教育社会史研究室年報』第4号，1998年12月，73-87頁。
39. 「英国における大学史研究—アバディーン大学五〇〇年史研究叢書を中心に—」（研究ノート）
名古屋大学史資料室『名古屋大学史紀要』第7号，1999年3月，65-96頁。
40. 「ヘンリー・ダイアーの胸像」
【UP】第319号，東京大学出版会，1999年5月，25-30頁。
41. 「『広辞苑』のなかのお雇い外国人」
【日本古書通信】第64巻第6号，日本古書通信社，1999年6月15日，10-12頁。
42. 「愛知県初の外国人教師 イングリスの面影を求めて」
【中日新聞】1999年7月29日（夕），9頁。
43. 「東奥義塾のウォルフ先生」
「緑の笛豆本」第370集，緑の笛豆本の会，1999年8月1日，全54頁。

44. 「『明治期の日本』コレクション」
名古屋大学附属図書館『館燈』No.132, 1999年8月15日, 1-4頁。
45. 「錦絵になった名大教師—ヨングハンス先生の植皮手術図—」
『名古屋大学史資料室ニュース』第7号, 1999年9月16日, 1-3頁。
46. 「矢口悦子著『イギリス成人教育の思想と制度—背景としてのリベラリズムと責任団体制度』(書評)
日本教育学会『教育学研究』第67巻第1号, 2000年3月, 137-139頁。
47. 「研究調査の成果と動向」
『民間・行政・学校の教育体系と大学院社会人修士課程—大学院における高度専門職業人養成システムに関する研究開発報告書—』名古屋大学教育学部・教育学研究科, 2000年3月, 54-78頁。[内田純一・五高敦子と共筆]
48. 「坪内逍遙と愛知英語学校」
『緑の笹豆本』第379集, 緑の笹豆本の会, 2000年5月1日, 全51頁。
49. 「日英交流史上の人物評伝—ジャパン・ソサエティ刊行の三書—」(著書紹介)
名古屋大学教育学部教育史研究室『教育史研究室年報』第6号, 2000年7月, 51-61頁。
50. 「大学アーカイヴズの充実を」
『名古屋大学史資料室ニュース』第9号, 2000年9月30日, 2-3頁。
51. 「明治日本躍進の研究—H.ダイアー『大日本』の刊行—」
『日本古書通信』第65巻第12号, 日本古書通信社, 2000年12月15日, 4-8頁。
52. 「錦絵になった名大教師」
『緑の笹豆本』第387集, 緑の笹豆本の会, 2001年1月1日, 全51頁。
53. 「大学史研究の成果と動向—S.ロウスプラット論文『近代大学史の研究と執筆』の紹介—」(研究ノート)
名古屋大学史資料室『名古屋大学史紀要』第9号, 2001年3月, 55-100頁。
54. 「ヘンリー・ダイアーと田邊朗郎」
『UP』第340号, 東京大学出版会, 2001年2月, 6-11頁。
55. 「名大最初の公開講座」
『名古屋大学大学史資料室ニュース』第11号, 2001年9月10日, 4-6頁。
56. 「菊花御紋章のついた洋書—『明治期の日本』コレクション・補遺—」
名古屋大学附属図書館『館燈』No.142, 2002年2月15日, 5-7頁。
57. 「工部大学校の賞品—ヘンリー・ダイアー署名入りの図書」
『UP』第356号, 東京大学出版会, 2002年6月, 10-15頁。
58. 「もう一人のハーン先生, 名大の国際交流, 礎に」
『中日新聞』2002年6月27日(夕), 10頁。
59. 「日英交流の推進者ヘンリー・ダイアーの叙勲」
『日本古書通信』第67巻第10号, 日本古書通信社, 2002年10月15日, 20-22頁。
60. 「名古屋帝国大学開学記念の『絵はがき』」
『名古屋大学大学史資料室ニュース』第13号, 2002年11月30日, 5-6頁。
61. 「工部大学校都検 H.ダイアーのホームページ」
『東京大学史資料室ニュース』第30号, 2003年3月31日, 1-4頁。
62. 「W. K. バルトン 近代上下水道の父」
『中日新聞』2003年9月17日(夕), 6頁。
63. 「八高生青春像と郁達夫文学碑」
『名古屋大学大学史資料室ニュース』第15号, 2003年10月15日, 2-4頁。
64. 「M. サンダーソン著/安原義仁訳『イギリスの大学改革 1809-1914』」(書評)
『IDE 現代の高等教育』No.454, 民主教育協会・高等教育研究所, 2003年11月, 73-75頁。
65. 「19世紀英国大学の歴史像研究—M. サンダーソン(安原義仁訳)『イギリスの大学改革 1809-1914』(2003年)」(図書紹介)

名古屋大学教育学部教育史研究室『教育史研究室年報』第9号，2003年12月，43-57頁。

66. 「O. チェックランドの日英交流史研究」
『日本古書通信』第69巻第8号，日本古書通信社，2004年8月15日，8-10頁。
67. 「スコットランドと英学」
『日本英学史学会報』No.104，2004年9月1日，3-4頁。
68. 「大学文書資料室の発足」
『名古屋大学大学文書資料室ニュース』第17号，2004年9月30日，3-4頁。
69. 「受教料」
『福澤手帖』123，福澤論吉協会，2004年12月20日，19頁。
70. 「『努力立身の人』ヘンリー・ダイアー」
『東京大学史料室ニュース』第33号，2004年11月30日，1-4頁。
71. 「漫画帖『八高生のご記』」
『名古屋大学大学文書資料室ニュース』第18号，2005年3月31日，4-5頁。
72. 「大学文書資料室の成長を祈る」
『名古屋大学大学文書資料室ニュース』第20号，2006年3月31日，9頁。
73. 「日本上下水道の父 W. K. バルトンの功績，生誕150年記念に寄せて」
『中日新聞』2006年6月21日（夕），6頁。
74. 「ヘンリー・ダイアー墓参」
『日本古書通信』第71巻第8号，日本古書通信社，2006年8月15日，14-16頁。
75. 「日本近代化の中のお雇い教師 W. K. バルトン」
W. K. バルトン生誕150年記念事業企画実行委員会編『W. K. バルトン生誕150年記念誌』2006年12月20日，52-55頁。
76. 「H. ダイアー『大日本』の製本と装訂」
『日本古書通信』第72巻第5号，日本古書通信社，2007年5月15日，8-10頁。
77. 「錦絵になったお雇い教師 T. H. ヨングハンス，西洋医学伝習150年」
『中日新聞』2007年12月20日（夕），5頁。
78. 「日本とスコットランド間の『教育連鎖』」
『日本英学史学会報』No.116，2008年9月1日，1頁。
79. 「お雇い教師H. ダイアーの著者署名本」
『日本古書通信』第73巻第9号，日本古書通信社，2008年9月15日，20-21頁。
80. 「神戸商業講習所と慶應人脈」
『福澤手帖』142，福澤論吉協会，2009年9月，16-25頁。
81. 「やっぱり書誌学はおもしろい!!—ヘンリー・ダイアー『大日本』の伝来をめぐって—」
『大学図書館問題研究会誌』第33号，大学図書館問題研究会愛知支部，2010年4月（刊行予定）。

[上記のうち，1982年までは加藤鉦治，それ以降は加藤詔士（筆名）にて執筆]